

特集：持続可能な学習教育支援システムの開発と運用

早稲田大学 e スクール

——10 年間の実績とシステム——

西村 昭治*， 向後 千春*

“e-School”

—Ten Years of Experience as an Online Course and Its Support System—

Shoji NISHIMURA*, Chiharu KOGO*

This paper describes an online college course named “e-school,” focusing on its ten years of experience and its support system. A follow-up study of e-school graduates shows that the success of online higher education courses depends on the following three factors: (1) educating students in the first year about effective learning through online mediums, (2) quality of mentors and mentoring systems for supporting online communication for students, and (3) training in writing and statistics for research work.

キーワード：高等教育，通信教育，eラーニング，メンター，LMS

1. はじめに：e スクールとは

e スクールの正式名称は早稲田大学人間科学部通信教育課程である。e スクールは、2003 年に開設され、卒業に必要な単位をすべて e ラーニングによる授業で取得することができる大学通信教育課程である。

本稿では、e スクールの概要と実績を紹介するとともに、その運営を支えているシステムについて記述する。また、社会人の生涯学習を支援する教育機関としての実績についてフォローアップ調査のデータから検証する。

2. e スクールの概要

早稲田大学人間科学部は早稲田大学創立 100 周年事業の一環として 1987 年 4 月に開設され、設立当初は人間基礎科学科（入学定員 100 名）、人間健康科学科（入学定員 160 名）、スポーツ科学科（入学定員 240 名）の 3 学科で構成されていた。2003 年 4 月早稲田大学各学部が抱えていた臨時定員増を吸収する形

で、人間科学部スポーツ科学科はスポーツ科学部（入学定員 400 名）として独立し、人間科学部は 21 世紀の問題を人間科学の視点から解決することを目指して、人間環境科学科（入学定員 200 名）、健康福祉科学科（入学定員 200 名）、人間情報科学科（入学定員 160 名）の 3 学科による構成に改編された。

2001 年 3 月における大学通信教育設置基準の一部改正により、大学通信教育課程において、卒業に必要な 124 単位すべてをインターネットによる授業によって取得することが可能となった。学部再編に伴い、法改正と相まって、インターネットを介した学修のみによって学士号取得可能な通信教育課程を併設することとなり、通学制と同様、人間科学部通信教育課程には人間環境科学科、健康福祉科学科、人間情報科学科を置くこととなった⁽¹⁾⁽²⁾。また、20 世紀末から始まった、早稲田大学の夜間学部の昼夜開講学部化、あるいは廃止（昼間学部への再編）は、社会人への門戸を閉ざしてしまうことにもなりかねず、新たに社会人対応の学部の設置が求められているという背景もあった。

* 早稲田大学人間科学学術院（Faculty of Human Sciences, Waseda University）